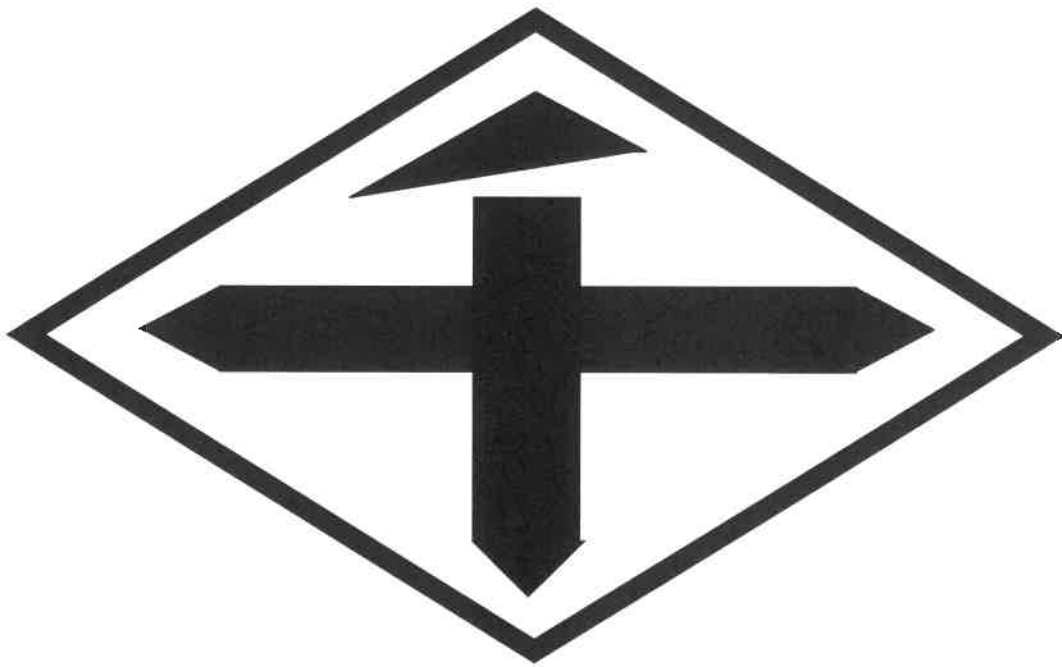


令和6年度

前期学校評価結果報告



八幡浜市立千丈小学校

第3回 学校関係者評価委員会

千丈小学校

- 1 日時 令和6年9月9日(金) 18:30~19:10
- 2 場所 千丈小学校 校長室
- 3 参加者 PTA会長 北川宜秀 千丈地区公民館長 和田憲治 主任児童委員 向井純子
 松柏中学校長 村上 剛 千丈小学校長 松本勇人 千丈小学校教頭 稲田雄一郎

4 内容

(1) 開会あいさつ(校長)

7~8月は、市内水泳記録会、てやてやウェーブや千丈小花火大会など、保護者や地域からの協力をいただきながら、たくさんの行事を終えることができた。子どもたちの活躍が随所に見られ、充実した夏休みになった。新学期が始まり、学校に活気がもどってきた。まだまだ暑さが厳しい日が続くが、子どもたちは、元気いっぱい過ごしている。今日は、前期の学校評価の結果をもとに、忌憚のないご意見をいただきたい。

(2) 前期学校評価報告(教頭) ※P. 2~11参照

(3) 意見交換(各委員より)

ア 児童の様子

- ・ 保護者、児童ともに全体的に評価が高く、日頃の取組の成果が表れている。児童の自己評価に比べて、保護者が厳しめに評価するのは、やむを得ないことかと感じる。1学期や夏休みの行事では、子どもたちがいきいきと活動しており、とてもよかったと思う。
- ・ スマートフォンについて、小・中学生の所持率も上がってきており、スマホ依存が懸念される。学習面、健康面への影響はもちろんのこと、悪用するケースも出ており、家庭、学校、関係機関が連携して、毅然とした対応・指導を行わなければならない。

イ 学習指導について

- ・ 読書は、形態が多様化してきている。中でも学習漫画などは、子どもたちが興味を持ちやすく、専門的なところまでイラストで分かりやすくまとめられているので、好んで読む児童・生徒が多い。ただ、やはり本よりも動画(You Tube)を視聴することが優先になっており、家庭での読書時間はどうしても短くなってしまうのではないだろうか。

ウ その他

- ・ 中学校の統合に伴い、中学生は自転車の移動がこれまでより格段に多くなる。小学校のうちから自転車の運転技術・安全意識を高めておくことが大切である。また、自転車で登校することを踏まえて、通学路を実際に歩いて危険箇所や要注意ゾーンなどを事前点検するなど、中学校に入学するまでには、家庭、学校、地域で、命を守るためにできることをしておかなければならないと感じる。

(4) 閉会あいさつ(校長)

それぞれの視点で気づいたことについて、ざっくばらんに意見交換ができてよかった。いただいた意見を参考に、見えてきた課題を今後の取組に生かしていくので、今後ともご協力をお願いしたい。

令和6年度 前期学校評価アンケートまとめ

1 各項目についての考察

(1) つながり大切に、共に伸び合う学校

児童、保護者ともに、「楽しく学校に通う」という観点では、おおむね肯定率が高い。多くの児童が、安定した学校生活を送ることができていることが分かる。しかし、一部ではあるが否定的にとらえている児童がいることを心に留め、個別の悩みやつまずきに対する支援をし、すべての児童が充実した学校生活を送ることができるよう努めていく。

(2) 基礎・基本の定着について

授業については、児童の評価からはおおむね肯定率が高くなっている。対話や体験を大切に取り組んできた結果と考えられる。しかし、家庭での学習や読書については、保護者の評価が厳しめである。読書の日（月曜日）や自主学習（けテふれ学習）などの取組について、さらにしっかりとした指導や啓発を行い、継続した指導を行っていく。

(3) 思考力・判断力・表現力の育成について

ICTを活用した学習が、教師にも児童にも定着し、表現の場を広めたり、話合いの質を高めたりすることができている。タブレットを使ったドリル学習や記録の累積などにより、自他の伸びを確認し合うことが学習意欲の向上にもつながってきている。今後は、児童が自分の考え方や思いを生かし、より主体的・対話的な学習活動となるよう、さらに工夫・改善を行っていききたい。

(4) 命を大切に教育の推進について

児童と保護者のゲームやSNSの利用についての回答に誤差があることを踏まえ、家庭との連携を密にしていく必要がある。1学期は、地震と津波を想定した垂直避難の訓練と、保護者と連携をして、引渡し訓練を実施した。今年に入り南海トラフ地震の発生の懸念度がさらに高まっているため、家庭や地域にいるときの災害時の対応について、防災教育の工夫や専門機関との連携を図った取組も行っていきたい。

(5) 子どものよさや可能性を伸ばす教育の推進について

児童、保護者ともに、教職員との信頼関係はおおむね良好だと言える。しかし、一部には改善を希望する声もあるため、教育活動（授業や学校行事、部活動等）の在り方について、児童のよさや可能性を伸ばす視点で改善できるよう、検討していく。

(6) 家庭との協力について

あいさつに関しては、児童・保護者共に肯定率が高い。お手伝いの習慣化については、児童自身の「家族としての自覚」や「協力することの意義」の理解がとても大切である。道徳科や家庭科、学級活動での取組を、発達段階や実態に応じて工夫・充実させていく。また、引き続き家庭との連携・協力を努める。

2 今後の目標と対策

(1) 目標

後期学校評価アンケートでのプラス評価、「1…思う」「2…まあまあそう思う」の割合が増えるように多様な工夫をする。また、児童評価平均 1.20 未満（前期 1.33）、保護者評価 1.50 未満（前期 1.65）とすることをめざす。

(2) 対策

学校評価アンケートで、肯定率が低い項目を改善できるよう、それらを意識した指導を日々継続していく。特に 1.8 以上の項目については、1.8 未満になるよう、力を入れて教育活動を展開する。

<児童> ①災害時の対応 1.79 ②手伝いの奨励 1.69 ③授業への取り組み方 1.43

<保護者> ①家庭での読書週間 2.16 ②手伝いの実践 2.03 ③ゲームやSNSとの付き合い方 1.97

④災害時の対応 1.90 ⑤正しく判断・行動 1.79

令和6年度 教育計画に基づいた考察

はい \longrightarrow いいえ

	1	2	3	4	計	平均
1 つながり大切に、共に伸び合う学校						
児1 学校に行くのは、楽しい。	64	17	5	0	86	1.31
保1 お子様は、楽しく学校に通っている。	49	27	1	0	77	1.38

児童、保護者のともに「楽しい」「楽しく通っている」との回答であるが、児童の回答では、数名が「あまり楽しくない。」と感じている。児童がしんどいと感じるときも学校に登校して頑張っていることを、親も教師も認め、励ましていきたい。また、否定的な原因が何か、学校生活での言動や児童の様子等から把握す努力をし、継続的に家庭と連携し、個別に支援していくことが重要である。

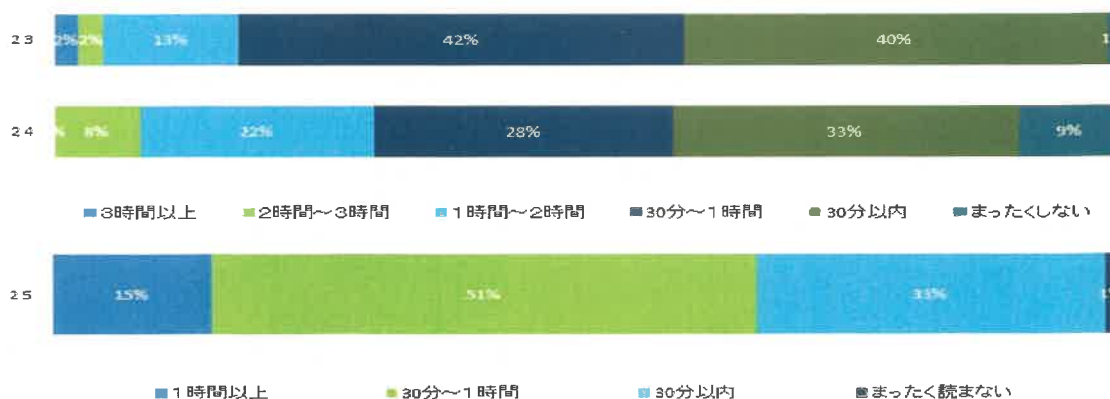
2 基礎・基本の定着 (授業・チャレンジタイム・補充学習・読書活動)						
児2 授業には、楽しく参加している。	64	17	5	0	86	1.30
児3 授業は、分かりやすい。	64	22	0	0	86	1.26
児19 家で、毎日、宿題や自主学習などの勉強をがんばっている。	58	24	3	1	86	1.38
児23 平日(月～金)の家庭学習時間はどれくらいですか。(塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。)	【下のグラフを参照】					
児24 休日(土、日、祝日)の家庭学習時間はどれくらいですか。(塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。)						
児25 読書の日(月曜日)には、どれくらいの時間、本を読んでいますか。						
保2 学校は、基礎学力の定着と学力向上に努めている。	37	36	4	0	77	1.57
保16 お子様は、読書の日(月曜日)には、本を読んでいる。	18	32	24	3	77	2.16
保17 お子様は、宿題や自主学習(予習・復習等)をする習慣を身に付けている。	29	39	9	0	77	1.74

児19保17

「けテふれ学習(計画・テスト・ふり返り・練習)」の継続により、児童の自主学習への取組については肯定率が高い。児童のがんばりを友達や家庭にも分かるよう、相互紹介や学級通信などで積極的に伝えていく。手本となるようなノートを通信にのせたり、みんなの様子が分かるように児童にも提示したりして、よりよい自主学習になるようにしていきたい。ただ、取組が十分でない児童も見られるので、つまずきや家庭での状況を個別に把握し、指導に生かしていく。児童の自己評価と保護者の評価との差が少し大きいので、理由を探りたい。

保16

月曜日(ノーゲーム・ノーネットデー)が読書の日となっているが、昨年度前期2.12、昨年度後期2.01と比較して、やや下がり2.16となっている。学校では、様々な本を手に取り読書をしているが、家庭では読む習慣が定着していない児童もいるようだ。今後も、工夫を重ねて読書習慣が身に付くように努める。



3 思考力・判断力・表現力の育成（主体的・対話的で深い学び、授業改善）							
児4	授業で意欲的に自分の思いや考えを発表したりノートに書いたりしている。	55	25	6	0	86	1.43
児5	授業では、学級の友達と話し合う活動（ペア・グループ）をよくしている。	72	22	1	0	86	1.20
児6	授業では、chromebook（クロムブック）をよく使っている。	61	23	2	0	86	1.31
児7	chromebook（クロムブック）の使い方は分かる。（教えてもらった場合も含む）	77	9	0	0	86	1.10

児4～児7 昨年度同様、肯定率が高い。しかし、授業への意欲が高くない数名の児童への支援をしていく。

4 命を大切にする教育の推進（心の教育・防災教育・情報教育）							
児9	言葉づかいに気を付けて、友達と、話したり、遊んだりしている。	56	25	4	1	86	1.42
児10	友達に優しく接している。（同じ学年の友達だけでなく他の学年の友達も含む）	68	17	1	0	86	1.22
児11	学校のきまりが、守れている。	59	24	2	1	86	1.32
児12	学校では、自分や友達の安全に気を付けて行動している。	72	14	0	0	86	1.16
児13	学校で地震や火事が起こったとき、どういう行動をとればいいか分かっている。	76	9	0	1	86	1.14
児22	家の人がいないときに、地震などの災害が起こったとき、どうすればいいか話している。	47	20	9	10	86	1.79
児20	家で、ゲームやSNSのきまりを守って遊んでいる。	68	14	3	1	86	1.27
保4	学校は、言葉遣いや規範意識を高めるための指導に努めている。	28	48	1	0	77	1.65
保5	学校は、児童の安全確保や施設・設備の安全管理ができています。（感染予防対策の徹底と適切な対応を含む。）	46	30	1	0	77	1.42
保6	学校は、自分や他の人の命を大切にする教育（心の教育・人権教育・防災教育・情報教育・交通安全教育）の推進に努めている。	38	39	0	0	77	1.51
保7	学校は、校報やホームページ、学級通信等で情報を伝えている。	46	28	3	0	77	1.44
保11	お子様は、明るく思いやりのある子に育っている。	33	40	6	0	77	1.58
保12	お子様は、正しく判断し行動できる子に育っている。	21	51	5	0	77	1.79
保18	お子様は、ゲームやSNSについて、学校や家庭のルールを守って利用している。	17	46	13	1	77	1.97
保19	地震等の災害が起こった場合の対応を、お子様と話し合っている。（避難場所、連絡方法、保護者不在時の対応等）	16	53	8	0	77	1.90

児9 児11 保4 保12

規範意識や正しい判断力の育成について保護者の評価が、否定的とはいえなくても、他の項目に比べ低めである。学校での生徒指導や道徳教育の取組について積極的に紹介するとともに、児童の実践力を高めるための指導の工夫・改善が必要である。

児20 保18

ゲームやSNSの利用時間やルールについて数値を見ると、保護者と子どもの差が大きい。保護者の肯定率が低めの評価である。児童の実態を把握・分析し、家庭でのルールの徹底を促すとともに、個別対応が必要な児童については家庭と連携しながら、指導していく。

児22 保19

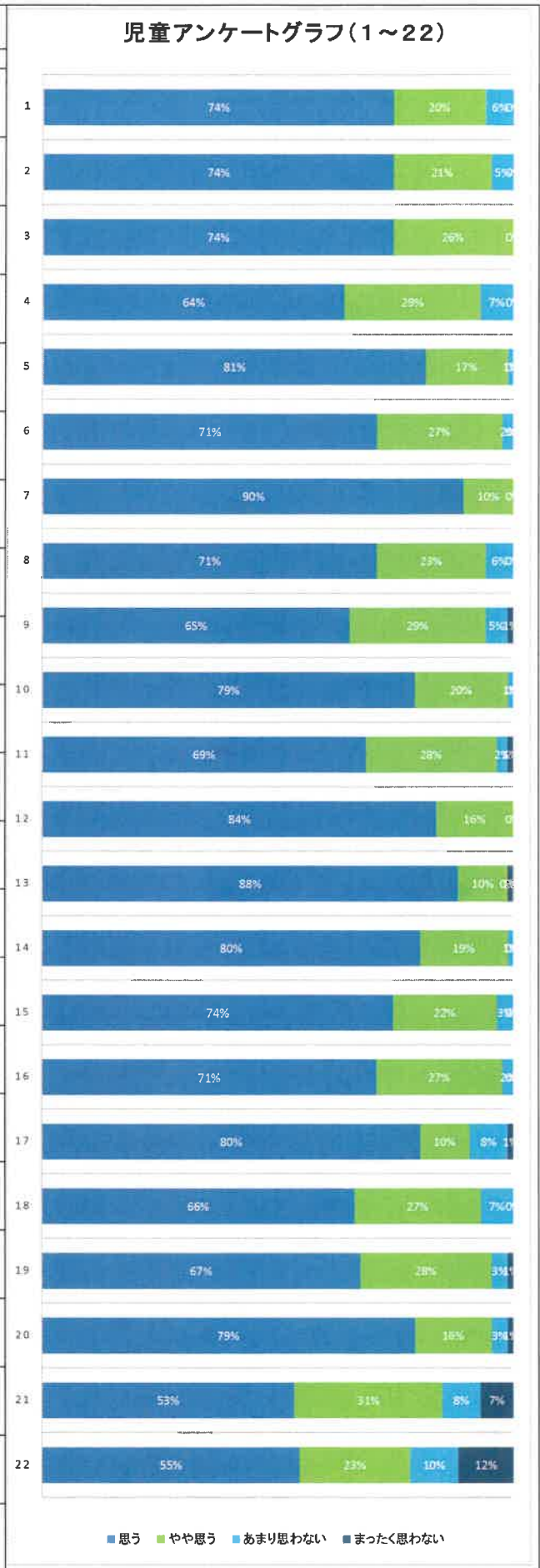
南海トラフ地震に備え、防災教育や避難訓練に、さらに工夫・改善を加え、意識と実践力を高められるよう努力する。危機管理室や専門機関とも連携の機会を持ちたい。

5 子どものよさや可能性を伸ばす教育の推進（合い言葉は、「ぜったいにあきらめませんじょう！」）							
児14	先生は、あなたのことに、気をつけてくれている。	69	16	1	0	86	1.21
児15	困ったことやいやなことがあったとき、先生に頼ったり、相談したりすることができる。	64	19	3	0	86	1.29
児16	むずかしいことがあっても、自分のめあてに向かって、粘り強くがんばっている。	61	23	2	0	86	1.31
保8	教職員は、一人一人のお子様の理解に努めている。	38	38	1	0	77	1.52
保9	お子様と教職員は、良好な信頼関係を築いている。	36	40	1	0	77	1.55
保10	お子様は、めあてに向かって粘り強くがんばる子に育っている。	25	46	6	0	77	1.75
<p>保8保9 肯定率が高いが、「思う」の割合が昨年度よりも少なめになっているため、ややポイントは下がっている。また否定的な回答もあるため、個別にしっかりと対応していく。</p> <p>児14児15 昨年度の前期・後期よりも肯定率が高い。引き続いて、児童一人一人を見つめしっかりと児童のよさや可能性を伸ばせるよう努める。</p> <p>児16保10 児童の自己評価に比べ、保護者の評価が厳しめである。児童の頑張りをしっかりと家庭に伝えていく。学校ではネガティブな気持ちを出さず、家庭で本心をさらけ出していることも考えられるため、しっかりと家庭と連絡を取り合う努力をしていく。</p>							

6 家庭の協力（基本的な生活習慣の育成、返事・挨拶、お手伝い）							
児8	進んで、あいさつやえしゃくをしている。	61	20	5	0	86	1.35
児17	家で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	69	9	7	1	86	1.30
児18	家では、早寝、早起き、朝ご飯を食べる、顔を洗う、歯磨きをするなど、きちんとした生活をしている。	57	23	6	0	86	1.41
児21	家で、お手伝いをしている。	46	27	7	6	86	1.69
保13	お子様は、家庭で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	51	22	4	0	77	1.39
保14	お子様は、早寝、早起き、朝ご飯、洗顔、歯磨き等の基本的な生活習慣が身に付いている。	31	41	5	0	77	1.66
保15	お子様は、家で手伝いをしている	16	46	12	3	77	2.03
<p>児8保13 挨拶については、児童も保護者も肯定率がとても高い。引き続き千丈っ子にこここ宣言の「だれにでも明るく元気なあいさつをします」について、全員が実践できるように、あいさつ運動を盛り上げていきたい。</p> <p>児21保15 お手伝いについて、児童・保護者とも否定的意見が多かった。家庭の中で、家族の一人として日々をともに生活している以上、自分にもできることや役割がある、あるいはすべきことがある、と実感できるように指導にあたるようにする。昨年引き続き、できているという児童がしているお手伝いを学級通信で紹介したり、休日にはお手伝いの宿題を出したりするなど工夫し、意識化・習慣化を図る。</p>							

令和6年度(前期)児童アンケート(1/2)		(86/86名) 回答率100%					計	平均
		1	2	3	4			
1	学校に行くのは、楽しい。	64	17	5	0	86	1.31	
2	授業には、楽しく参加している。	64	18	4	0	86	1.30	
3	授業は、分かりやすい。	64	22	0	0	86	1.26	
4	授業で意欲的に自分の思いや考えを发表或 したりノートに書いたりしている。	55	25	6	0	86	1.43	
5	授業では、学級の友達と話し合う活動 (ペア・グループ)をよくしている。	70	15	1	0	86	1.20	
6	授業では、chromebook(クロムブック) をよく使っている。	61	23	2	0	86	1.31	
7	chromebook(クロムブック)の使い方は 分かる。(教えてもらった場合も含む)	77	9	0	0	86	1.10	
8	進んで、あいさつやえしやくをしてい る。	61	20	5	0	86	1.35	
9	言葉づかいに気を付けて、友達と、話し たり、遊んだりしている。	56	25	4	1	86	1.42	
10	友達に優しく接している。(同じ学年の 友達だけでなく他の学年の友達も含む)	68	17	1	0	86	1.22	
11	学校のきまりが、守れている。	59	24	2	1	86	1.36	
12	学校では、自分や友達の安全に気を付け て行動している。	72	14	0	0	86	1.16	
13	学校で地震や火事が起こったとき、どう いう行動をとればいいのか分かっている。	76	9	0	1	86	1.14	
14	先生は、あなたのことに、気を付けてく れている。	69	16	1	0	86	1.21	
15	困ったことやいやなことがあったとき、 先生に頼ったり、相談したりすることが できる。	64	19	3	0	86	1.29	
16	むずかしいことがあっても、自分のめあ てに向かって、粘り強くがんばってい る。	61	23	2	0	86	1.31	
17	家で「おはよう」「いただきます」「お やすみなさい」等の基本的なあいさつを している。	69	9	7	1	86	1.30	
18	家では、早寝、早起き、朝ご飯を食べ る、顔を洗う、歯磨きをするなど、きち んとした生活をしている。	57	23	6	0	86	1.41	
19	家で、毎日、宿題や自主学習などの勉強 をがんばっている。	58	24	3	1	86	1.38	
20	家で、ゲームやSNSのきまりを守って 遊んでいる。	68	14	3	1	86	1.27	
21	家で、お手伝いをしている。	46	27	7	6	86	1.69	
22	家の人がいないうちに、地震などの災害 が起こったとき、どうすればいいか話を している。	47	20	9	10	86	1.79	

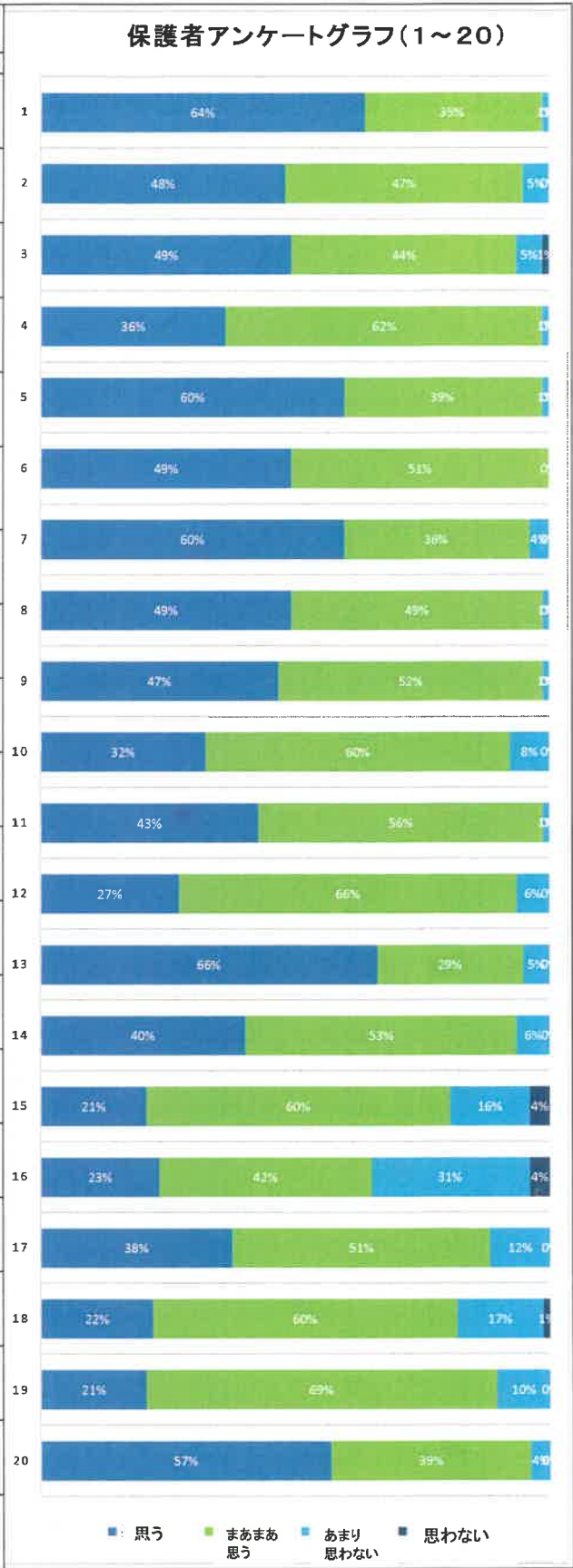
児童アンケートグラフ(1~22)



令和6年度(前期)児童アンケート(2/2)		3時間をこえる	3時間くらい	2時間くらい	1時間くらい	15分から30分くらい	まったくしない	計																												
23	平日(月～金)の家庭学習時間はどれくらいですか。(塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。)	2	2	11	36	34	1	86																												
24	休日(土、日、祝日)の家庭学習時間はどれくらいですか。(塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。)	0	7	19	24	28	8	86																												
		<p>■3時間以上 ■2時間～3時間 ■1時間～2時間 ■30分～1時間 ■30分以内 ■まったくしない</p> <table border="1"> <caption>平日(23)の家庭学習時間分布</caption> <tr><th>時間</th><th>割合</th></tr> <tr><td>3時間以上</td><td>2%</td></tr> <tr><td>2時間～3時間</td><td>13%</td></tr> <tr><td>1時間～2時間</td><td>42%</td></tr> <tr><td>30分～1時間</td><td>40%</td></tr> <tr><td>30分以内</td><td>1%</td></tr> <tr><td>まったくしない</td><td>0%</td></tr> </table> <table border="1"> <caption>休日(24)の家庭学習時間分布</caption> <tr><th>時間</th><th>割合</th></tr> <tr><td>3時間以上</td><td>0%</td></tr> <tr><td>2時間～3時間</td><td>8%</td></tr> <tr><td>1時間～2時間</td><td>22%</td></tr> <tr><td>30分～1時間</td><td>28%</td></tr> <tr><td>30分以内</td><td>33%</td></tr> <tr><td>まったくしない</td><td>9%</td></tr> </table>							時間	割合	3時間以上	2%	2時間～3時間	13%	1時間～2時間	42%	30分～1時間	40%	30分以内	1%	まったくしない	0%	時間	割合	3時間以上	0%	2時間～3時間	8%	1時間～2時間	22%	30分～1時間	28%	30分以内	33%	まったくしない	9%
時間	割合																																			
3時間以上	2%																																			
2時間～3時間	13%																																			
1時間～2時間	42%																																			
30分～1時間	40%																																			
30分以内	1%																																			
まったくしない	0%																																			
時間	割合																																			
3時間以上	0%																																			
2時間～3時間	8%																																			
1時間～2時間	22%																																			
30分～1時間	28%																																			
30分以内	33%																																			
まったくしない	9%																																			
		1時間以上	30分～1時間	30分以内	まったく読まない	計																														
25	読書の日(月曜日)には、どれくらいの時間、本を読んでいますか。	13	44	28	1	86																														
		<p>■1時間以上 ■30分～1時間 ■30分以内 ■まったく読まない</p> <table border="1"> <caption>読書の日(25)の読書時間分布</caption> <tr><th>時間</th><th>割合</th></tr> <tr><td>1時間以上</td><td>15%</td></tr> <tr><td>30分～1時間</td><td>51%</td></tr> <tr><td>30分以内</td><td>33%</td></tr> <tr><td>まったく読まない</td><td>1%</td></tr> </table>							時間	割合	1時間以上	15%	30分～1時間	51%	30分以内	33%	まったく読まない	1%																		
時間	割合																																			
1時間以上	15%																																			
30分～1時間	51%																																			
30分以内	33%																																			
まったく読まない	1%																																			

令和6年度(前期)保護者アンケート(1/2)		(77/86名) 回答率90%					平均
		1	2	3	4	計	
1	1. お子様は、楽しく学校に通っている。	49	27	1	0	77	1.38
2	2. 学校は、基礎学力の定着と学力向上に努めている。	37	36	4	0	77	1.57
3	3. 学校は、あいさつ運動の充実に努めている。	38	34	4	1	77	1.58
4	4. 学校は、言葉遣いや規範意識を高めるための指導に努めている。	28	48	1	0	77	1.65
5	5. 学校は、児童の安全確保や施設・設備の安全管理ができています。(感染予防対策の徹底と適切な対応を含む。)	46	30	1	0	77	1.42
6	6. 学校は、自分や他の人の命を大切にす る教育(心の教育・人権教育・防災教育・ 情報教育・交通安全教育)の推進に 努めている。	38	39	0	0	77	1.51
7	7. 学校は、校報やホームページ、学級通 信等で情報を伝えている。	46	28	3	0	77	1.44
8	8. 教職員は、一人一人のお子様の理解に 努めている。	38	38	1	0	77	1.52
9	9. お子様と教職員は、良好な信頼関係を 築いている。	36	40	1	0	77	1.55
10	10. お子様は、めあてに向かって粘り強く がんばる子に育っている。	25	46	6	0	77	1.75
11	11. お子様は、明るく思いやりのある子に 育っている。	33	43	1	0	77	1.58
12	12. お子様は、正しく判断し行動できる子 に育っている。	21	51	5	0	77	1.79
13	13. お子様は、家庭で「おはよう」「いた だきます」「おやすみなさい」等の基本 的なあいさつをしている。	51	22	4	0	77	1.39
14	14. お子様は、早寝、早起き、朝ご飯、洗 顔、歯磨き等の基本的生活習慣が身に付 いている。	31	41	5	0	77	1.66
15	15. お子様は、家で手伝いをしている	16	46	12	3	77	2.03
16	16. お子様は、読書の日(月曜日)には、 本を読んでいる。	18	32	24	3	77	2.16
17	17. お子様は、宿題や自主学習(予習・復 習等)をする習慣を身に付けている。	29	39	9	0	77	1.74
18	18. お子様は、ゲームやSNSについて、 学校や家庭のルールを守って利用して いる。	17	46	13	1	77	1.97
19	19. 地震等の災害が起こった場合の対応 を、お子様と話し合っている。(避難場 所、連絡方法、保護者不在時の対応等)	16	53	8	0	77	1.90
20	20. 家庭で、お子様と会話をよくして いる。	44	30	3	0	77	1.47

保護者アンケートグラフ(1~20)



学校教育をよりよいものにするために、参考にさせていただきます。学校に対するご要望、ご提案、ご意見等ありましたらご自由に、お書きください。

★学校からの回答

①水泳部についてですが、毎日練習をさせていただき、とてもありがたいです。しかし、毎年始める時期が早すぎる気がします。特に6年生は修学旅行があり、寒い時期に始まったので、体調が心配でした。せめて、修学旅行が終わってからもいいのではないかと思います。そして、音楽部との差がありすぎるようにも思います。運動が苦手な選手になれないけれど、頑張っている子達もいます。音楽部の活動がもう少し活発にあったらいいのに、という声も聞きます。金管楽器も、子ども達同士で教え合えば、まだ続けられたのではないかと、いう気もします。5年生以下の子ども達からは、金管楽器ができないなら音楽部に入らない、という話も聞いたことがあります。色々意見を書かせていただきましたが、放課後のお忙しい時間にご指導していただいていることには、心から感謝しています。ありがとうございます。

↓↓↓↓↓

★いつも放課後活動に対しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

水泳部の練習開始時期につきましては、天候や他の行事、児童の体調などを配慮しつつ、過重負担とならぬようしっかりと検討させていただきます。

★音楽部の持ち方につきましては、児童数や指導者数等の減少などを考慮し、総合的に捉えた上で現在の形で進めさせていただきます。どの部活動も参加する児童が充実感を得られるよう、今後も努めてまいります。

②お世話になっております。以前学校へ電話で問い合わせをしたところ、後日問い合わせに対する直接の答えが示されていないご回答を紙でいただきましたので、その理由を改めて電話で〇〇先生にお聞きしました。その時の答えが、「私にもわかりませ〜ん」と、おどろくべく軽薄なものでした。共に解決しようとする姿勢はなく問い合わせの真意の確認を怠り、回答する責任を放棄したように感じ、粗末に扱われたショックは忘れられません。児童の皆さんがこのような扱いをされないこと、アンケートによって子どもが不利益を受けないことを切にお願い申し上げます。

↓↓↓↓↓

★職員の対応の在り方により、不愉快な思いや不信感を抱かれるような思いをさせてしまったことを、お詫び申し上げます。児童に対する様々な対応においても、そのような思いをさせることのないよう十分に心配りをいたします。お問い合わせの件につきましては、昨年度末の分区長会や本部役員会にもお諮りして、令和7年度は改善することとしております。担当の者が把握できていない貴重なご意見をいただいたことに感謝しております。

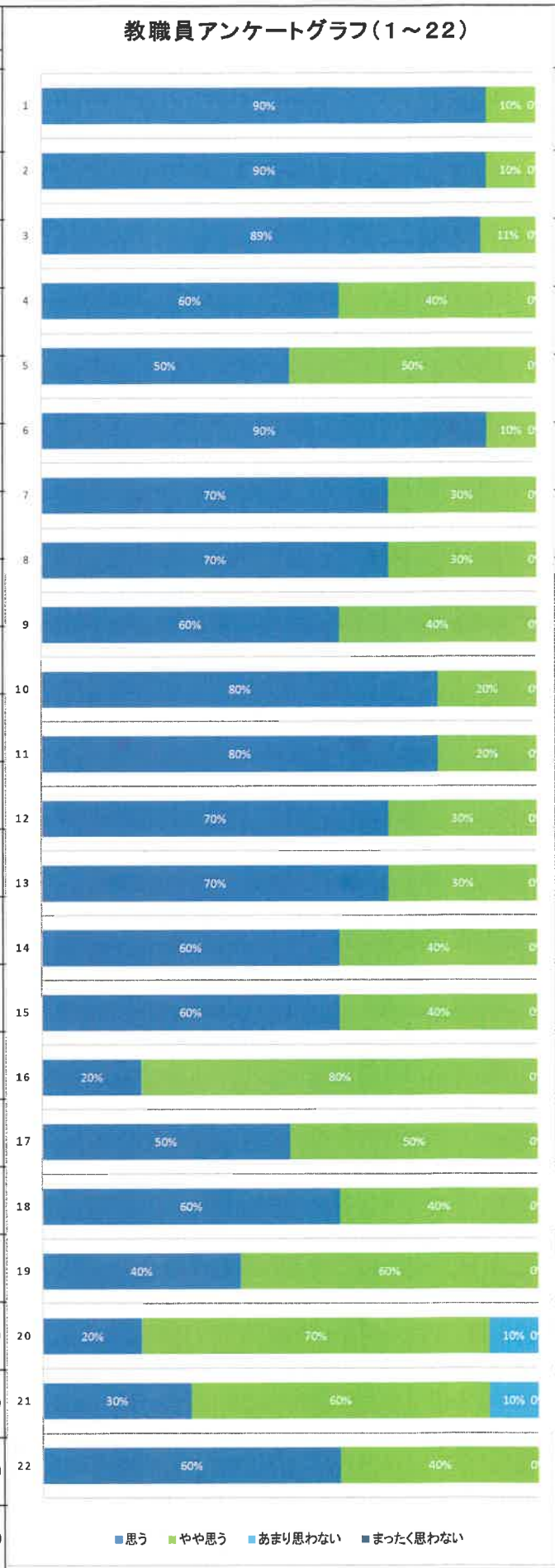
③先生方のおかげで楽しい学校生活を送っているようです。ありがとうございます。

↓↓↓↓↓

ご家庭のご支援ご協力があってこそです、今後ともよろしく願いたします。

令和6年度(前期)教職員アンケート		(10人/10人) 100%				
		1	2	3	4	計
1	1.学校の教育目標【「つよく、やさしく、きまりよく生きる」千文の子を育てる】の達成に向けて、指導や支援に努めたか。	9	1	0	0	10
2	2.学習指導において、基礎・基本の確実な定着・向上に努めたか。	9	1	0	0	10
3	3.分かりやすい授業を心掛け、授業改善に努めたか。	8	1	0	0	9
4	4.主体的に考え、共に学び合う児童の育成(研究主題)に努めたか。	6	4	0	0	10
5	5.教育活動中でのICT機器の効果的な活用に努めたか。	5	5	0	0	10
6	6.命を大切にする教育の推進(心の教育・防災教育・情報教育・交通安全教育)に努めたか。	9	1	0	0	10
7	7.教師自身が明るくさわやかな挨拶や返事をするを心掛けるとともに、児童への挨拶や返事の指導に努めたか。	7	3	0	0	10
8	8.児童の間違った行動に対して、毅然とした態度で指導するように努めたか。	7	3	0	0	10
9	9.人権・同和教育の充実・改善に努め、児童が豊かな心をもてるよう、指導や支援に努めたか。	6	4	0	0	10
10	10.児童の自尊感情を高めるために、一人一人を大切にする指導や支援に努めたか。	8	2	0	0	10
11	11.生徒指導上の問題(いじめ、非行、不登校等)の未然防止に向けた指導や支援に努めたか。	8	2	0	0	10
12	12.安全な学校環境作りに努めたか。	7	3	0	0	10
13	13.危機管理意識をもち、子どもの安全確保に努めたか。(新型コロナや熱中症の対応も含む)	7	3	0	0	10
14	14.児童は、「めあてに向かって粘り強くながらぶる子」に育っている。	6	4	0	0	10
15	15.児童は、「明るく思いやりのある子」に育っている。	6	4	0	0	10
16	16.児童は、「正しく判断し行動できる子」に育っている。	2	8	0	0	10
17	17.家庭と連携し、児童の学力向上や基本的な生活習慣の育成に努めたか。	5	5	0	0	10
18	18.家庭と連携し、生徒指導上の問題についての早期対応に努めたか。	6	4	0	0	10
19	19.家庭・地域と連携をとり、信頼される学校作りに努めたか。	4	6	0	0	10
20	20.ワークライフバランスを考え、家庭と仕事の両立に努めたか。	2	7	1	0	10
21	21.働き方改革の意識をもち、業務改善、負担軽減となるよう努めたか。	3	6	1	0	10
22	22.公文書や表簿類の適切な保管や正確かつ迅速な事務処理に努めたか。	6	4	0	0	10

教職員アンケートグラフ(1~22)



教育計画に基づいた番号	
	学校目標・校訓 (1 14 15 16)
	学習指導 (2 3 4 5)
	心の教育 (6 9 10)
	生徒指導 (7 8 11)
	安全・安心 (12 13)
	家庭との連携 (17 18 19)
	働き方改革 (20 21)
	事務管理 (22)
	<p>考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの項目においても、8～9割教職員が肯定的な回答となっており、落ち着いて教育活動を進めることができている。その反面、教員数の減少により教職員一人一人の業務が多くなり負担が増えている。新規採用教員をはじめ、困難や悩みを抱える教職員がいないか互いに声掛けや配慮をしながら、教育活動を進めていきたい。 ・家庭との連携や生徒指導事例、児童の健康管理等については、学校全体で情報を共有し、担当の教職員で抱え込むことのないよう、チームでよりよい方法を考えていく。 ・ワークライフバランスや働き方改革については、肯定的な回答が多いが、更に業務の精選等を行い、負担軽減を図りたい。そうすることによって、気持ちにゆとりを持って児童と接することができるようにしていく。 ・職員室の温かい雰囲気作りや何でも悩みを言い合える関係性づくりを心掛け、学校での業務と同様、教職員自身の健康や家庭を大切にす。